# 愛媛大学医学部支援基金

~未来の医療の芽を育むために~

# ご寄付のお願い

EHIME UNIVERSITY
SCHOOL OF MEDICINE





# 愛媛大学医学部支援基金の目的及び使途

この基金を利用し、医学部の学生、研究者、医療従事者に優れた教育・研究・医療環境を提供し、医学医療の進歩に一層の貢献をしていきます。

目 的

使 途

医療人育成のための環境整備

医学研究の支援

先端医療の推進

ご寄付単位

- 個人 1 口 1,000円
- 法人1口 10,000円

本基金の趣旨をご理解いただき、複数口を目安として、おいくらでもありがたくお受けいたします。

また、土地、建物によるご寄付、遺贈によるご寄付等をお考えの方は基金担 当窓口へお問い合わせください。

## 基金を活用した取組事例とご支援への感謝の声を紹介します。

### 学生生活・教育環境の改善

学生生活環境をより良くするため、テニスコートの改修とゴルフ練習場の整備を行いました。各サークルの学生が参加して実施した開所式では、学生代表より「日々の練習に励むとともに、文武両道を目指します!」と感謝と誓いの言葉がありました。

また、パソコンやタブレット等の各種情報機器を利用者(学内者限定)が持ち込んで学習や研究に利用できるよう、全22席に電源や通信環境が完備されたICT学習室を図書館医学部分館に開設しました。





# 国際交流の推進

国際的な広い視野を持った医療人を育成するため、 国際化推進支援事業を実施しており、医学科の学生4人 が、中国の大連医科大学で臨床実習を行いました。

実習では、英語でコミュニケーションを図りながら、 実際の回診やカンファレンスに参加したほか、外来や

关院の回診ドガフファレフスに参加したはが、外末ド 心臓カテーテルの治療現場を見学しました。参加した学生からは、「日本の医療現場 との違いを体感することができ、現地の医師や同じ医学生と交流し、視野を広げる ことができた」といった声が聞かれました。

# ご厚志に対する謝意

ご寄付いただいた皆様には、お礼状の送付をはじめ、ご芳名の愛媛大学医学 部支援基金ホームページへの掲載などによりご厚志に対する感謝の意を表し、 末永く本学部の歴史に刻ませていただきます。

#### お願い

ご寄付いただいた方のご芳名を愛媛大学医学部支援基金ホームページに掲載させていただく際に、匿名を希望される方は、寄付申込書の通信欄の□匿名希望欄にチェックをお願いします。

# 寄付金のお申し込み方法

#### ↑ 金融機関等にてお振り込みいただく場合

申込書を兼ねた専用の振込用紙をご利用ください。振込用紙は、 医学部研究協力課または病院総合案内に設置しておりますので、その 旨をお申し出ください。

#### 2 現金でご寄付いただく場合

医学部研究協力課または病院総合案内へお申し出ください。寄付申 込書にご記入の上、ご寄付いただけます。

3 ホームページ内「寄付フォーム」からご寄付いただく場合

愛媛大学医学部支援基金ホームページにアクセスいただき、「寄付を申し込む」からご寄付いただけます。

愛媛大学医学部支援基金

http://www.m.ehime-u.ac.jp/donation/

### 税法上の優遇措置

#### 【個人からのご寄付】

2,000円を超える部分について、当該年所得の40%を限度に所得控除対象となります。別途お送りする寄付金領収書を、控除証明書としてご利用下さい。(確定申告によりお手続きください。)

所得税確定申告対象は1月1日から12月31日までの寄付金額となります。

所得合計額の40%または寄付 金額のいずれか少ない方の額

- 2,000円

一 **寄付金控除額** (所得控除)

#### 【法人からのご寄付】

ご寄付は税務上、全額損金に算入可能です。 ※所得税控除制度の詳細については、愛媛大学医学部支援基金ホームページでご確認ください。

#### 【優遇措置を受ける手続き】

- ご入金確認後、「寄付金領収書」等とお礼状を送付させていただきます。 領収書につきましては、後日、発行させていただきます。
- 本学が発行した「寄付金領収書」等は、税制上の優遇措置を受けるため に必要です。確定申告まで大切に保管してください。
- 確定申告期間に、本学が発行した「寄付金領収書」等を添えて税務署に申告してください。住民税の寄付金税額控除のみを受ける場合は、お住まいの市区町村に申告をお願いいたします。

お問合せ先

愛媛大学医学部研究協力課 〒791-0295 愛媛県東温市志津川454

**1 111** (089)960-5944

FAX (089)960-5961

# 愛媛大学医学部への ご支援のお願い



愛媛大学医学部長 羽藤 直人



愛媛大学医学部附属病院長 杉山 隆

愛媛大学医学部は、高度な医療の普及を目指して全国に設置された新設医学部の第一 号として、1973年に設立されました。基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育・ 研究・医療」のもと、患者から学ぶ真摯な態度と教育・研究・医療の成果を患者に還元する優れ た能力を併せ持った医療人の育成に努めています。これまでに医師と看護師を併せて5千名 を超える人材を輩出しており、卒業生は今や全国各地で医学・医療のリーダーとして活躍す るとともに、地域の医療を支えています。

一方、2004年に国立大学が法人化して以降、大学の財政は年々厳しくなってきておりま す。優れた教育、研究、医療環境を構築するには、国からの補助金、学費収入、附属病院の医 療収入だけでは十分ではありません。

そこで、この度、医療人育成のための環境整備、医学研究の支援、先端医療の推進等を目 的とした「愛媛大学医学部支援基金」を創設しました。この基金を利用して、医学部の学生や 研究者や医療従事者等に優れた教育・研究・医療環境を提供し、医学医療の進歩に一層の貢献 をしていきたいと考えています。

皆様には、この趣旨を御理解いただき、基金への御寄付を心よりお願い申し上げます。

社会への 還元

寄付者の 皆様

爱媛大学医学部 支援基金の 活用

医療人

ご寄付

愛媛大学

人材育成

医学部





手術手技研修センターでの実習見学

看護学科における 学内演習の様子



医療人育成のための環境整備

### 【活用事例】

- ・奨学支援、奨学金制度の設立と表彰等
- 海外派遣、研修、留学支援等
- ・図書購入資金、学習資料の支援等
- •施設整備、実習実験機器の充実

# 医学研究の支援

#### 【活用事例】

- •学部内競争的資金制度の設立と支援
- 基礎研究の支援等
- (学生対象事業「医科学研究」の支援等)
- ・臨床研究センターの体制強化支援等

# 地域の医療を 支えていきたい。

ハイブリッド 手術室





手術ロボット 「ダヴィンチ」



#### 先端医療の推進

#### 【活用事例】

- 先進医療の開発支援等
- 医療機器の新規導入及び更新等支援
- ・新たな手術手技修得支援等
- ・産学連携による医療機器開発等支援

